

(1)事業の概要等

事業番号	B0901-1
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	サービス事業者振興事業					担当部			福祉部		
	事業期間	平成13年度	～	令和7年度以降			担当課			介護保険課		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	9	展開 方向	1	担当係			保険資格係		
	予算区分	一般会計	款	3	項	2	目	4	大	3	中	3
	根拠法令・個別計画	小牧市介護サービス事業者振興事業実施要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	市内の介護サービス事業者相互の連携を推進し、事業者の振興を図るとともに、利用者が適切に介護サービスを利用できるようサービス提供体制の安定化、サービスの質の向上を図る。										
	対象 (何・誰を対象に)	介護サービス事業者 市民										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>事業の運営は小牧市社会福祉協議会へ委託している。</p> <p>●令和4年度の実施内容 ※()は参加者数</p> <p>○総会 4/23(76事業所80人)</p> <p>○幹事会6回 5/18(9者)、7/21(11者)、9/22(12者)、11/18(9者)、1/23(新幹事含む16者)、3/24(新幹事含む17者)</p> <p>○介護展 6/19(日)ふれあいセンター 協力事業者(70事業者85人) 来場者数212人</p> <p>○介護職員研修</p> <p>・全体会 4/23(51人)</p> <p>・各サービス部会主催6回 7/27、8/24、12/8、1/24、2/15、3/8(延べ129人)</p> <p>・小牧市介護支援専門員連絡協議会との合同研修5回 10/25、12/16、1/30、2/13、3/23(延べ137人)</p> <p>・小牧市内保健福祉施設団体連絡会・小牧市障害者自立支援協議会 共催 3/13(12人)</p> <p>○市民向け講座2回コース 野口の郷にて60歳以上の市民対象 11/22(24人)、11/24(21人)</p> <p>○小牧市介護保険サービス事業者一覧及び事業所マップの作成</p> <p>○サービス種別ごとで部会の開催 1～5回</p> <p>●直接経費(令和4年度) 委託料 3,566,462円</p> <p>●直接経費(令和5年度) 委託料 4,684,000円</p>										
	受益者負担	有	年会費1,000円									

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	3,194	3,303
			国・県支出金	千円	—	—	—	203	
			その他	千円	—	—	—	—	
			計(A)	千円	3,194	3,303	3,640	3,567	
			対前年比	%	—	103.4%	110.2%	97.9%	
			予算額	千円	3,194	3,303	4,671	4,372	4,684
	人件費		正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
			正規職員(平均賃金)	千円	749	749	749	749	
			その他職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
			その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0	
			計(B)	千円	749	749	749	749	
			事業費合計(C=A+B)	千円	3,943	4,052	4,389	4,316	

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	9	展開方向			1
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1								
2								
3								

指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
成果指標	介護展来場者数	人	目標	—	—	—	—	—
			実績	320	中止	展示のみのため不明	212	
部会主催研修の延べ受講者数	人	目標	—	—	—	—	—	—
		実績	285	58	151	129		
活動指標	介護展協力事業所数	事業所	目標	—	—	—	—	—
			実績	103	中止	不明	70	
部会主催研修回数	回	目標	—	—	—	—	—	—
		実績	5	2	6	6		
単事業あたり	受益者数(a) サービス事業者連絡会加入事業所数		事業所	150	150	143	141	
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	26,284	27,010	30,689	30,607	

(4)事業の評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの
事業の評価	事業の達成状況と課題	<p>介護展は、感染対策を講じ、人数制限を設けた上で令和4年度は2年ぶりに体験コーナー等を設けて開催することができた。また、令和4年度から新たに介護・福祉のお仕事相談ブースを設け、ハローワークや県福祉人材センターの職員等による仕事内容の説明や相談、紹介を行った。</p> <p>なお、令和4年度から介護展にかかる経費については、県の介護普及啓発事業費補助金(補助率3/4)を活用している。</p> <p>研修は、令和2年度はコロナ禍による中止のため研修回数は減少した。令和3年度以降の部会主催研修の多くはWebで実施したが、各サービス事業所においてコロナ禍の対応により職務多忙であったこと等の理由により、受講者数はコロナ前の令和元年度と比較すると減少している。</p> <p>課題としては、介護保険サービス事業者連絡会加入事業所数が減少しており、介護展への協力事業所数や研修への参加者数なども減少傾向にあることが挙げられる。</p>
	今後の実施内容	<p>介護保険サービスを安定して提供していくためには、サービス事業者の相互連携は必要不可欠であるため、事業は引き続き実施していく。</p> <p>加入事業所が減少傾向にあることから、加入するメリットが実感できるよう事業内容や部会構成等の見直しを検討する。</p>
事務事業評価による額	千円	節
	細節	細々節